

品番：SC-85 品名：GENGEN eLF 2 液型 水性フロアー用

(2 液型水性ウレタンエマルジョン塗料)

仕 様 書

玄々化学工業株式会社

ホルムアルデヒド放散等級

F [(社)日本塗料工業会登録 登録番号G01281]

F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

特長

溶剤系塗料に匹敵する、高光沢、肉もち感を得ることができます。

高物性型水系上塗り塗料で透明性に優れる。

刷毛塗り、アプリケーションでの作業性が良好です。

適度なノンスリップ性と弾力性がありすべりにくく足に負担をかけません。

耐ヒールマーク性に優れています。

密着性、耐摩耗性、乾燥性、耐久性などに優れる。

水性のため不燃性で、引火性がない。

学校環境衛生基準適合

用途

体育館、学校の教室等木質フローリング

塗装方法

刷毛塗り、アプリケーション

塗膜物性比較試験

試験片：カバ無垢材にそれぞれの塗料を3回塗りし、1週間乾燥させた後評価

試験項目	試験方法	試験結果	
		SC-70	SC-85
塗料系統		水性	水性
塗料種類		1液型ウレタン エマルジョン	2液型ウレタン エマルジョン
指蝕乾燥時間	20 で評価	1時間	20～30分
指圧乾燥時間	20 で評価	3時間	2時間
光沢	60° 鏡面反射光沢計 IG-320	85以上	90以上
肉もち感	目視確認		
塗膜色	目視確認	微黄色透明	無色透明
耐酸性	5%酢酸 6時間		
耐アルカリ性	6%炭酸ナトリウム 6時間		
耐アルコール性	60%エタノール 6時間		
耐シンナー性	ラッカーシンナー 6時間		
耐衝撃性	デュポン式 1/2インチ 300g 30cm		

標準配合比及び可使用時間

	10 以下	20	30 以上
主剤品番	SC-85 100部	SC-85 100部	SC-85 100部
硬化剤	SB-55 10部	SB-55 10部	SB-55 10部
うすめ液	水 0~10部	水 0~10部	水 0~10部
可使用時間	4~5時間	3時間	2時間

可使用時間は増粘により作業性が悪くなる時間を目安としております。

また可使用時間を越えた塗料を使用すると塗膜欠陥を生じることがあります。

乾燥時間（数値は標準値です）

	10	20	30
指触乾燥	40~50分	20~30分	10~20分
硬化乾燥	3~4時間以上	2~3時間以上	1~2時間以上

塗装工程

仕 様：水性 透明仕上げ

工程	品番/塗料名	塗布量 (g/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20)	シンナー名 希釈率(%)
1 素地研磨1	ポリッシャー研磨 P24~P80 で全面平滑にする			
2 素地研磨2	ポリッシャー研磨 P100~P120 で全面平滑にする			
3 下塗り	SC-85 GENGEN eLF 2液型 水性フローア-用	80~100	8時間以上	水 0~10%
4 研磨	ポリッシャー研磨 P120~P150 で全面平滑にする			
5 中塗り	SC-85 GENGEN eLF 2液型 水性フローア-用	80~100	8時間以上	水 0~10%
6 研磨	ポリッシャー研磨 P120~P150 で全面平滑にする			
7 ライン塗装	S 8ライン 水性コートラインエナメル(各色)	40~60	4時間以上	
8 上塗り	SC-85 GENGEN eLF 2液型 水性フローア-用	80~100	8時間以上	水 0~10%
9 上塗り ()	SC-85 GENGEN eLF 2液型 水性フローア-用	80~100	24時間以上	水 0~10%

() 最終仕上げ前に塗面の汚れ等を確認し、必要であれば塗面研磨後に塗装を行って下さい。

8.上塗り と、9.上塗り のインターバルは3日以内でお願い致します。

塗替えの場合には、旧塗膜を取り除いた後に塗装を行って下さい。旧塗膜が残っている場合は、密着が悪くなる事があります。

体育館などのスポーツ施設などでのご使用の場合には1週間以上の養生をして下さい。

塗布量については1回塗りの目安として下さい。

施工上の注意事項

攪拌は、ハンドミキサーなどによる機械攪拌を行って下さい。必ず主剤を攪拌しながら硬化剤を少量ずつ添加し、均一に混ぜて、その際泡の巻き込みのないように注意して下さい。

主剤に硬化剤を混合後、可使用時間（3時間/20℃）を過ぎた塗料は使用しないで下さい。高温時（液温が高い場合）は可使用時間が短くなるのでご注意下さい。

高温時、低温時は乾燥が遅くなるので、翌日は換気を十分行って下さい。

気温が5℃以下の場合、塗装を避けて下さい。また乾燥中も5℃を下回らないようにご注意下さい。

塗料の貯蔵については5℃以上、35℃以下で保存して下さい。

塗料及び洗浄した水道水の処分は、産業廃棄物として処理して下さい。

注意事項

塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。（凍結しない場所）

ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。

塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意下さい。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。

塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。

塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。

5℃以下でのご使用は避けて下さい。（乾燥時間が著しく遅くなります）

塗装時に使用した道具は、温水石鹼で洗浄後、溶剤（アセトン）にて洗って下さい。

どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。

目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。

皮膚についた場合には、石鹼で水洗いして下さい。

初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。

他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。

製品の取り扱いに当たっては、製品安全データシート（MSDS）に従って下さい。

廃棄方法

少量の場合には、吸収材（新聞紙等）に染み込ませ乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。

量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。

水路や下水道には流さないで下さい。